

派遣労働者の雇用と暮らしを守るために奮闘

森脇ひさき県議が一般質問



二月定例県議会は、二月二十三日に開会し、三月十六日まで二十二日間の日程で開かれました。日本共産党県議団は、森脇ひさき県議が一般質問(三月三日)に、武田英夫県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。

離職者の一時宿泊所を↓実現へ

森脇県議は、任んでいた寮を追い出され、住居の無い労働者に対して、県として一時宿泊所を急いで確保するよう求めました。石井知事は、「現在、雇用失業情勢の悪化が特に著しい倉敷地域において、県立南部高等技術専門校の寄宿舎を、春休みの期間を利用して、一時宿泊所として活用できないか検討させているところである。」と答弁。その後、三月十七日に、離職者に一時宿泊施設を提供する事業として正式に決定されました。定員十五名、実施期間は三月十八日から四月五日まで、無料(ただし、食事の提供はなし)です。

県が補助金を交付する大企業には責任を果たさせよ

森脇県議は、来年度から、県内企業競争力強化促進補助金が交付される(五年間で十億円)村田製作所について、「偽装請負が問題となった〇六年、請負として働いていた多くの労働者が派遣社員となっている。もし偽装請負があったとすれば、三年以上実態として派遣労働だった方がいることになる。県から特別な補助金が交付されるという企業だからこそ、このたび雇い止めになった派遣労働者の派遣期間の調査と、実態として三年以上働いていた人は直接雇用するよう求めるべきではないか」と質しました。県産業労働部長は、「私どもに権限はありませんけれども、労働局におきます、対策本部、私も入った会がございます。そういうご要望があったという趣旨は充分伝えてまいりたいと思っております」と答弁しました。

党団 共産 県議 労働局・岡山県・大企業と直接交渉し、先頭に

日本共産党県議団は、アメリカ発の金融危機を契機に、県内でも、三菱自動車や村田製作所といった大企業が、先頭切って派遣や期間労働者の大量首切りをすすめるなか、国会議員団や市町村議員団、労働組合や関係諸団体と連携しながら、労働者の雇用と生活を守る先頭に立って奮闘してきました。

提供できるようにする
★私学に通う生徒の保護者が、解雇・倒産・破産などにより授業料の支払いが困難に陥った際の授業料減免制度の枠の拡大 ……などが実現しました。

民主…『雇用守れ』の陳情に反対

民主県民クラブは、岡山県労働組合会議が提出した派遣労働者の雇用を守ることを求める陳情に反対し、県民の切実な願いに背を向けました。

森脇ひさき県議の質問項目	
① 「派遣切り」から労働者を守れ!	・「派遣切り」を増やさないために ・解雇された労働者等への支援
② 「行財政改革大綱2008」について	・公の施設の見直しについて ・臨時的任用職員削減および非常勤職員の見直しについて
③ 障害のある子どもへの支援について	
④ 「特別支援教育推進プラン」について	
⑤ 心身障害者医療費公費負担制度について	
⑥ 子ボリ問題	

岡山村田製作所に二度目の申し入れ(昨年十二月十六日)



解雇・雇い止めにあった労働者に提供する県営住宅に、県の責任で風呂を設置するよう申し入れ(二月十三日)



三菱自動車に二度目の申し入れ(二月十三日)



岡山労働局に二度目の申し入れ(2月3日)

日本共産党 岡山県議会報告

2009年3月 No. 8 FAX(086) 231-2187
日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086) 224-2111(内線 4056)
〒700-8570 岡山市内山下2丁目4-6 岡山県議会内
ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>
E-mail: kyosan@pref.okayama.jp

県教育委員会に三つの申し入れ

3月11日 特別支援学級設置について

3月16日 学費が払えずに卒業できない若者を一人も出さないために

全国学力テストの市町村別結果の公表問題について(写真右)



特別支援学級設置問題で門野県教育長に申し入れ (三月十一日)

2009年4～6月の議会日程 (予定)

委員会の積極的な視聴を

日	委員会	時間	出席者	日	委員会	時間	出席者
4月13日(月)	議会運営委員会	10時30分～	武田	5月21日(休)	特別委員会		
4月15日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員	5月22日(金)	特別委員会		
6月7日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員	5月28日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月8日(金)	議会運営委員会	10時30分～	武田	5月29日(金)	特別委員会	10時30分～	全員
5月13日(休)	議会運営委員会	10時30分～	武田	6月2日(火)	議会運営委員会	10時30分～	武田
5月15日(金)	臨時議会	10時30分～	全員	6月22日(休)	特別委員会	10時30分～	全員
5月18日(月)	議会運営委員会	10時30分～	武田	6月23日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月20日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員	6月25日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田

6月定例会議会は、6月8日開会、26日閉会の予定。代表質問は6月11・12日、一般質問は6月16・17・18日の予定。日本共産党からは、赤坂てる子県議が一般質問、森脇ひさき県議が討論に立つ予定です。請願・陳情の受付は、6月10日(火)までです。

特別支援学級設置について原議団として門野県教育長へ申し入れを行いました。障害を持つ子どもと保護者にとって小学校入学時、中学進学時の不安は特別なものがあります。ところが新学期を前に「六年間過ごした小学校から、地元中学に特別支援学級がないことを理由に、他学区の中学校へ行くように言われて困っている。」と各地から悲鳴の声があがっています。市町村教育委員会からも、「就学指導委

員会の判断」をふまえて特別支援学級の新增設を求め、県教委の同意が得られず、「対応に苦慮」しているという声があがっています。これは、県教委が、昨年度は一人では認めないことが問題になっていましたが、新年度は、対象児童生徒数が二名以下の場合でも、学級の新設を認めないためです。学区外の、特別支援学級のある学校への入学や、通常学級での授業を受けざるを得なく

なっているのです。倉敷市議会で、市教育長自身が、昨年度から県教育長に要望してきたこと、新年度は市内七校での設置が認められておらず、再度県教育長を訪ね「強く要望」するとし、倉敷市長も知事に要望すると答えています。岡山県教委は、三月に「特別支援教育推進プラン」を策定しますが、特別支援教育の後退ともいえる事態が起きていることは重大です。この背景にあるのが、「行財政構造改革二〇〇八」による教職員削減計画です。県教育長自身が、「影響がないと言ったらウソになる」というように、来年度だけで教職員一八六人を削減する計画です。教育現場と子どもたちへのしわ寄せを許してはなりません。



特別支援学級の新增設を認めよ

— 文教委員・赤坂てる子 —

討論に立った武田県議は、「平成二十一年度岡山県一般会計予算」ならびに「岡山県職員定数条例」について、緊急で切実な景気・雇用対策の予算が措置されていることを評価しつつ、反対を表明しました。その理由として、この予算は、「財政構造改革大綱二〇〇八」の初年度予算として、県民と市町村、そして県庁職員・教職員に冷たい仕打ちの予算となっていることをあげ、その象徴として、「岡山県単独の障害者医療制度の自己負担の激変緩和の廃止」「障害児の特別支援学級の新設制限」「岡山市竜の口グリーンシャワー公園」など「公の施設の廃止」、「内田百閒文学賞」や「メダリスト養成プラン」など岡山県の未来を大きくむ文化・スポーツの施策の廃止などを指摘しました。政務調査費の領収書添付問題については、

わが党が提案者になっている「一円以上の領収書の公表」という条例案を議決し、逆に自民党案の「一万円超」という条例案を否決するよう求めました。武田県議は、例え金額に制限をつけることになったとしても岡山県議会が領収書の公表に踏み切ったことは、県民の知る権利に基づく情報公開が一歩前に進むことになるとは間違いなく、大きな意義があると指摘。しかし、自民党の「公表は一万円超」という条例案は時代錯誤であると厳しく批判しました。武田県議は討論の最後に、中国銀行の永島頭取が「岡山経済は輸出主導で伸びていた。反動は全国より大きい可能性がある」と指摘していることを例にあげ、雇用に関する請願・陳情の採択を強く求めました。



二〇〇九年度一般会計予算案に反対

— 武田英夫県議が討論 —

主な議案と請願・陳情の結果

【議案・発議】	共産	自民	民進	公明	結果
平成21年度岡山県一般会計予算案	×	○	○	○	○
岡山県職員定数条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○
政務調査費の領収書添付に当たり「1万円以上の領収書の公表」を義務づける条例案 (民主・公明・共産)	○	×	○	○	×
政務調査費の領収書添付に当たり「1万円以上の領収書の公表」を義務づける条例案 (自民)	×	○	×	×	○

2月定例会議会は、知事提案の121議案を原案通り可決しました。わか党は10議案に反対し、残りに賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民進	公明	結果
雇用の安定と地方自治体財政の拡充を求めることについて (岡山県労働組合会議)	○	×	×	×	×
貧困の連鎖を断ち切り、市民生活を底上げすることを求める意見書の採択を求めることについて (岡山県青年司法士協議会)	○	×	○	×	×
医療附属原簿費支弁事業の継続を求めることについて (岡山県難病団体連絡協議会)	○	×	○	○	×
養護教諭の1正規採用、2複配配置、3妊娠中の代替配置、4統合対応校への配置を求めることについて (岡山県高等学校教職員組合)	○	×	○	×	×

※: ○採択、×不採択、△継続